

イオンモール札幌平岡を舞台に、清田区で活動しよう!



ワークショップに参加して、清田区のこれからをたのしもう!

アットホームストア プロジェクト

お店のなかでおしゃべり時間

2021年10月10日(日) 14:00 ~ 15:30
10月11日(月) 10:30 ~ 12:00

イ

イオンモール札幌平岡では店舗の「アットホームストア化」をテーマにみんなでアイデアを出し合うワークショップを開催しています。3月、6月に引き続き行われた今回は、初めて店内での開催となりました。今後のプロジェクトの進め方について説明し、店舗や森を活用した具体的な活動内容を話し合いました。



01 あいさつ 札幌市政策推進課廣瀬さんとイオン北海道株式会社の栗原さんから事業の説明をしました。

これまでイオンモール札幌平岡を舞台にどのような活動を行うのか検討を重ねてきました。今後は清田区役所周辺の将来像についても意見交換を開始します。区役所周辺と平岡の両輪で、清田区全体のにぎわいを生み出せるようにしていきましょう。



札幌市 廣瀬さん

企業主導ではなく、計画段階から地域の皆さんと一緒に考え、店舗だけではなく、まちの賑わいにつなげていきます。地域の皆さんが主役となり取り組む活動のお手伝いをしていきたいと思っています。一緒に愛着のある店とまちをつくりましょう。



イオン北海道 栗原さん

02 ふりかえり これまで開催してきたワークショップについてふりかえりをしました。

このプロジェクトは、3月の清田区役所での説明会からスタートし、お店づくりを住民の皆さんと一緒に考えていきたいとメッセージを伝えました。また、6月はオンラインでワークショップを開催し、お店の中や外でやってみたいことの見聞交換をしました。参考事例を楽しく学びながら、住民の皆さんとイオンと一緒に考えるお店づくりを通し、まちを良くしたいという考えを共有しました。



03 自己紹介 ご自身の日頃の活動などについて自己紹介をしました。

イオンモール札幌平岡での思い出を交えながら、楽しく自己紹介をしました。最近清田区に引っ越してきた方や、主婦の方、お子さま連れの方など様々な方が参加され、今後のイオンモール札幌平岡が地域にどう関わっていくのか、今後どう変わっていくのかに興味を持たれていました。また、すでに地域で活動をされている方もおり、具体的な活動内容についてほかの参加者さんに熱く語りかけている様子も見られました。参加者さんの活動のお話に興味を持ち、自分が「いいな」、「素敵だな」と感じた時に掲げる「いいねカード」を笑顔で振る姿も見られました。



04 意見交換 イオンモール札幌平岡でやってみたいことなどのアイデアを出し合いました。

意見交換の進め方

「あったらいいな研究」「森の活用」「子ども・若者の居場所づくり」の3つのテーマの中から自分が興味を持ったテーマ1つを選び、3つのグループに分かれて意見を出し合いました。



事例カードを使い、他の地域での取り組みを共有しました。



イオンでならどのようにできるか意見を出し合いました。



各テーマで出た意見を全体で共有しました。

あったらいいな研究 イオンでのサービスや商品について、地域の皆さんと一緒に作る取り組みを話し合いました。

空いている店舗や駐車場で、地元の学生が学校祭のように、自分たちで作るカフェができれば面白いというアイデアがありました。その中で清田区の地元ブランド野菜のほうれん草「ポーラスター」を使った料理があれば地域のPRにもなるという意見もありました。また、清田区のクラフトビールを作り広げていけたらという意見もありました。



森の活用 イオンの森について、森の中でどのようなことができるか話し合いました。

男性が活躍できる木を使った道具作りや、女性・子どもも楽しめるブックカフェやキャンプ、また、自然を感じながら映画の上映会をしたいというアイデアがありました。やりたいと思う人が集まってやってみる、大人も自然について学ぶ、森の中に住むアオサギや他の動物たちと共生できるような取り組みにしていきたいという意見もありました。



子ども・若者の居場所づくり 様々な世代の人たちが交流するためにはどんな場が必要なのか話し合いました。

地域の人が先生となり、クラフトや宝さがしなど森での遊びや理科の実験のような子ども主体の体験機会のアイデアが出ました。また、店内ではイオンと家庭をつなぐ駄菓子屋さんや展示、絵本図書館や絵本を紹介する子どもラジオ、けん玉遊びなどの意見も出されました。留学生に日本文化を伝える交流プログラムなどのアイデアもありました。



05 アンケート結果 参加者の感想を一部ご紹介

地域に住んでいる人が意見を出し合える場が素敵で今後の可能性が広がりワクワクする。/ イオンのようなスーパーが主体でやるとワクワクすることがたくさんできそう。/ 百人百様な様々な発想と視点があり、視野が広がった。/ 年代を超えて話ができて楽しかった。/ 関わる住民がもう少し広がってほしい。/ ワークショップの様子を清田区民にもっと発信してほしい。

今後のご案内！

これまで出たアイデアを、実際にお店の中のどのようなスペースでできるかを探索しながら話し合い、実現させるためのワークショップを実施します。

